

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年1月15日 (2009.1.15)

【公表番号】特表2005-537382(P2005-537382A)

【公表日】平成17年12月8日 (2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-536968(P2004-536968)

【国際特許分類】

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

C 0 8 G 18/00 (2006.01)

C 0 8 L 33/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

C 0 9 D 151/00 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 151/00 (2006.01)

D 2 1 H 19/62 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 75/04

C 0 8 G 18/00 C

C 0 8 L 33/00

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 133/00

C 0 9 D 151/00

C 0 9 D 175/04

C 0 9 J 151/00

D 2 1 H 19/62

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年11月18日 (2008.11.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重付加生成物とラジカル重合体とから成るハイブリッド分散液において、まず、重付加生成物及びラジカル重合体を構成するそれぞれのモノマーを水中で乳化させ、引き続き重付加を実施して重付加生成物を製造し、かつラジカル重合を実施してラジカル重合体を製造し、その際、重付加生成物を構成するモノマーの 40 % がそのような重付加生成物へと変換される前にそれぞれのモノマーを水中で乳化させ、かつ、重付加及びラジカル重合を、モノマー液滴が 1000 nm 以下の粒径を有する水性ミニエマルション中で実施することにより得ることができることを特徴とする、ハイブリッド分散液。

【請求項 2】

重付加生成物を構成するモノマーの 20 % がそのような重付加生成物へと変換される前にそれぞれのモノマーを水中で乳化させることにより得ることができる、請求項 1 記載のハイブリッド分散液。

【請求項 3】

重付加生成物を構成するモノマーの５％がそのような重付加生成物へと変換される前にそれぞれのモノマーを水中で乳化させることにより得ることができる、請求項１又は２記載のハイブリッド分散液。

【請求項４】

重付加生成物としてポリウレタン及びポリウレタン尿素を含有する、請求項１から３までのいずれか１項記載のハイブリッド分散液。

【請求項５】

エポキシ基とアルコール、酸、アミン又は無水物との反応により生じる重付加生成物を含有する、請求項１から４までのいずれか１項記載のハイブリッド分散液。

【請求項６】

全部で少なくとも４０質量％が、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル（メタ）アクリレート、 $C_3 \sim C_{20}$ シクロアルキル（メタ）アクリレート、２０個までのＣ原子を有するビニル芳香族化合物、１～２０個のＣ原子を有するカルボン酸のビニルエステル、エチレン性不飽和ニトリル、１～１０個のＣ原子を含有するアルコールのビニルエーテル、ビニルハロゲン化合物、２～８個のＣ原子及び１もしくは２個の共役二重結合を有する非芳香族炭化水素又は上記モノマーの混合物から選択された主要モノマーから成るラジカル重合体を有する、請求項１から５までのいずれか１項記載のハイブリッド分散液。

【請求項７】

重付加生成物及びラジカル重合体の割合の合計に対する重付加生成物の定量的割合が１～９９質量％である、請求項１から６までのいずれか１項記載のハイブリッド分散液。

【請求項８】

重付加生成物とラジカル重合体とから成るハイブリッド分散液の製造法において、まず、重付加生成物及びラジカル重合体を構成するそれぞれのモノマーを水中で乳化させ、引き続き重付加を実施して重付加生成物を製造し、かつラジカル重合を実施してラジカル重合体を製造し、その際、重付加生成物を構成するモノマーの４０％がそのような重付加生成物へと変換される前にそれぞれのモノマーを水中で乳化させ、かつ、重付加及びラジカル重合を、モノマー液滴が１０００nm以下の粒径を有する水性ミニエマルジョン中で実施することを特徴とする、ハイブリッド分散液の製造法。

【請求項９】

重付加とラジカル重合とを同時に実施する、請求項８記載の方法。

【請求項１０】

まず重付加を実施し、その後ラジカル重合を実施する、請求項８記載の方法。

【請求項１１】

まずラジカル重合を実施し、その後重付加を実施する、請求項８記載の方法。

【請求項１２】

方法をミニエマルジョン中で実施し、その際、ミニエマルジョンを、超音波を用いて、又はノズルジェット乳化機を用いて製造する、請求項８から１１までのいずれか１項記載の方法。

【請求項１３】

ラジカル重合を２０～１５０の温度で実施する、請求項８から１２までのいずれか１項記載の方法。

【請求項１４】

重付加を３０～１２０の温度で実施する、請求項８から１３までのいずれか１項記載の方法。

【請求項１５】

ラジカル重合又は重付加を高めた圧力で実施する、請求項８から１４までのいずれか１項記載の方法。

【請求項１６】

重合を放射線誘導により実施する、請求項８から１５までのいずれか１項記載の方法。

【請求項１７】

被覆剤又は含浸剤のためのバインダーとしての、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載のハイブリッド分散液の使用。

【請求項 18】

接着剤、ワニス、塗料、紙用塗工剤中のバインダーとしての、又は繊維ウェブのためのバインダーとしての、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載のハイブリッド分散液の使用。